

想定される支援内容				支援の概要・ 必要性	ケアプラン作成時の判断（指導者として）		メモ（自分の気づき・他の人の意見等）
大項目	中項目	小項目	想定される支援内容		支援の必要性の判断 ○必要だと判断 ×不要と判断 ▲検討しなかった	ケアプランの位置付け ○位置付けた ×位置付けなかった	
0 誤嚥性肺炎の予防の必要性の理解	0-1誤嚥性肺炎の予防の必要性の理解	0-1-1 必要性の理解	1誤嚥性肺炎の予防の必要性の理解				
		1-1-1 誤嚥リスクの評価に資する情報の収集	2 日常の健康状態や生活状況の継続的な把握と共有				
			3 かみ合わせや咀嚼及び義歯の状況等の継続的な把握と共有				
			4 誤嚥リスクが疑われる出来事の把握				
		1-1-2 誤嚥による肺炎のリスクの把握	5 咳や呼吸、口腔衛生の状況の把握と共有				
2 日常的な発症及び再発の予防	2-1 摂食嚥下機能の支援	2-1-1 摂食嚥下機能の改善・維持	6 摂食嚥下機能、発声・発話の維持・改善のための支援 ※基本ケアとも重複するが「リスク評価」結果を踏まえて特に留意して実施				
			7 口腔乾燥への支援 ※基本ケアとも重複するが「リスク評価」結果を踏まえて特に留意して実施				
	2-2 リスクを小さくする支援	2-2-1 嚥下トラブルなく食事をとることの支援	8 食内容の見直しの支援 ※基本ケアとも重複するが「リスク評価」結果を踏まえて特に留意して実施				
			9 食事のとり方や環境の整備 ※基本ケアとも重複するが「リスク評価」結果を踏まえて特に留意して実施				
		2-2-2 フレイル予防のために必要な栄養の確保	10 食事内容と栄養摂取状況の把握と改善 ※基本ケアとも重複するが「リスク評価」結果を踏まえて特に留意して実施				
		2-2-3 口腔ケアの実施	11 口腔ケアの実施 ※基本ケアとも重複するが「リスク評価」結果を踏まえて特に留意して実施				
	3 再評価	3-1 リスクの再評価	12 一定期間ごとのリスクの再評価				
4 変化を把握したときの対応体制の構築	4-1 変化を把握したときの対応体制の構築	4-1-1 変化を把握したときの対応体制の構築	13 短期的な変化を把握したときの連絡・対応体制の事前検討				
			14 留意すべき兆候を把握し共有する支援体制の整備 ※基本ケアとも重複するが「リスク評価」結果を踏まえて特に留意して実施				
	4-2 入院後の生活復帰の見通しの共有	4-2-1 入院後の生活復帰の見通しの共有	15 入退院時における回復後の生活復帰の見通しの共有 ※基本ケアとも重複するが「リスク評価」結果を踏まえて特に留意して実施				